



校長室だより

令和3年
3月1日
NO. 10

来年度の日課・部活動等について

今年度から新しい学習指導要領が本格実施されました。英語や道徳の教科化やプログラミング学習の導入。全児童に配付されたマイタブレットに象徴されるように情報化も進み、子供を取り巻く教育環境は大きく変わりつつあります。それに伴い、新たな時代に対応した学校の在り方が求められています。今年度、本校では授業や学校行事等において子供の主体性を重視した教育活動に取り組んできました。これからの時代に求められるのは、自分で考え判断し行動できる力だと考えているからです。来年度もこうした考え方に基づき教育活動の一層の充実を図っていきます。

一方、働き方改革は社会の大きな課題となり、私たち教職員の働く環境も大きく変わってきました。国レベルでは「公立義務教育諸学校の教職員の給与等に関する特別措置法」という法律が一部改正されました。これに伴い「愛知県の条例」や「岡崎市学校管理規則」も改正されました。これらにより令和3年4月1日から、私たち教員の時間外在校時間は、「1か月45時間以内、年間360時間以内」に制限されるようになります。

秦梨小の学校経営案では、本校の教職員の勤務時間は「8時10分から16時40分まで」としています。どこの学校も同じでしょうが、本校の教員も子供たちが下校してから翌日の授業準備をしたり教室環境の整備をしたりしているので、どうしても時間外在校時間は増えてしまっています。行事等があるときにはなおさらです。しかし、法律で定められた以上、当然ながらこれを遵守しなければなりません。校長としては、それができる環境を整える責任があります。これは市内全小中学校で共通した課題になっています。



▲4年、5年の合同『学び合い』の授業

子供たちへの教育の質を向上させながら勤務時間も守るという相反するとも思える課題を解決しなければなりません。そこで、いろいろ検討した結果、本校では4月からの日課を見直し終了時刻を25分早めることにしました。

- ① 朝のドリル・読書の時間を5分短くする。
- ② 放課を5分短くする。(1時間目と2時間目、3時間目と4時間目、5時間目と6時間目の間の放課) ※ 長放課と昼放課は現状のまま
- ③ 毎日の掃除の時間を5分短くする。 <①~③により25分間の短縮>
※始業時刻は、これまで通り8時10分です。

また、部活動についても、これまでは平日4日の活動でしたが、来年度からは平日3日の活動として、月曜日と木曜日は部活動を行いません。活動時間、最終下校時刻は次の通りです。

- ・ 4、5月 (活動時間1時間。最終下校時刻16時30分)
- ・ 6～10月 (活動時間1時間20分。最終下校時刻16時50分)
※10月の小学校球技大会、陸上競技大会以後の最終下校時刻は16時30分
- ・ 11～2月 (部活動はなし。最終下校時刻は15時30分)
- ・ 3月 (活動時間1時間。最終下校時刻は16時30分)
※5時間授業の場合の下校時刻は、14時40分
※6時間授業の場合の下校時刻は、15時30分

今年度、コロナウイルス感染防止対策で、鼓笛クラブの活動を取り止めました。昨年度までは、3年生から6年生までの全ての子供が冬の部活動の時間に鼓笛の練習をしてきました。しかし、今後児童数の減少が予想され、鼓笛クラブの維持が厳しい状況にあります。また、練習を楽しみにしている子供がいる一方で、負担に感じる子供もいるようです。子供にとっても指導する教師にとっても負担が大きいことから、総合的に判断して来年度以降も鼓笛クラブの活動を中止することにしました。授業以外の音楽的な活動については、これまでどおり学芸会の全校音楽等を通じて充実させていこうと考えています。

来年度は、これまでより下校が早まることで、子供たちが自由に使える時間が増えるともいえます。その時間を有効に使えるように自分で考え行動できる子供になってほしいと願い指導していくつもりです。また、こうした時間を使って、個々の子供の相談に乗ったり学習指導をしたりする等、一人一人の子供たちの心に寄り添った教育活動ができるようにも努めていきます。

来年度も、いろいろ変化の大きい1年になりそうですが、どうかその趣旨をご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

※ 学校関係者評価委員会が開催されました

去る2月22日に評議員の方々にお集まりいただき、今年度最後の学校関係者評価委員会が開催されました。「校長室だより9号」でもご報告した「学校評価アンケート」の結果分析に基づき、今年度の秦梨小の教育活動についてご指導いただきました。

今年度、子供たち一人一人が自分で考え、判断し、行動できる力を身に付けられるよう授業や学校行事等の改善に力を注ぎましたが、この点について一定の評価をいただきました。教職員にとって大きな励みになり、嬉しく思っています。「あいさつ運動」については、より成果を得るために保護者の方々の協力を仰ぐことも大切だというご助言をいただきました。これらのご指導を来年度の教育活動に生かしていきたいと思っています。

また、先日、今年度最後の「いじめアンケート」を行いました。子供間でのトラブル等について常にアンテナを高くして適切に対応していきます。何かお気づきの点、不審な点がありましたら、いつでも学校にご連絡、ご相談ください。